

富山県知事

石井 隆一 様

要 望 書

とやま呉西圏域連携推進協議会

日頃から、とやま呉西圏域（高岡市、射水市、氷見市、砺波市、小矢部市、南砺市）の発展のため格別のご高配を賜り深く感謝申し上げます。

今後、人口減少社会において地方創生により本圏域の活力の維持向上を図り、一層の連携強化を推進するため、格段のご配慮をよろしくお願い申し上げます。

令和元年7月

高岡市長 高橋 正樹

射水市長 夏野 元志

氷見市長 林 正之

砺波市長 夏野 修

小矢部市長 桜井 森夫

南砺市長 田中 幹夫

連携中枢都市圏における安定した財源確保について

高岡市、射水市、氷見市、砺波市、小矢部市及び南砺市で構成する「とやま呉西圏域」では、平成 28 年 10 月に連携中枢都市圏を形成し、各市間において連携協約の締結及び圏域の中長期的な将来像や具体的な取り組みを定める都市圏ビジョンを策定のうえ、連携事業を推進しているところである。

人口減少・少子高齢化が急速に進行する中で、地域の再生・創生を果たすには、人口や行政サービス、生活基盤等のみならず、経済・雇用や都市構造の面も重視した連携の構築が必要である。そのためには、普通交付税、特別交付税など国からの安定的な財源を確保し、本圏域が実施する産業、観光、地域交通、医療・福祉等、各種連携施策を着実に推進することが重要である。

ついでには、国からの安定的な財源の確保において、とやま呉西圏域連携中枢都市圏への格別のご配慮を願いたい。

- ・ とやま呉西圏域連携中枢都市圏への安定的な交付税措置

圏域全体の経済成長に資する公共交通ネットワークの 活性化について

北陸新幹線が開業し交通基盤は格段に強化され、圏域内への観光客、特に訪日外国人の来訪も格段に増加している。2020年には東京オリンピック・パラリンピックが開催され、以降は北陸新幹線の金沢以西への延伸も予定されており、観光を取り巻く環境は大きく変化し、本圏域への観光誘客効果が期待される。飛騨地域・能登地域を含む“飛越能地域”へと観光誘客効果を高め、とやま呉西圏域に取り込み、圏域の経済振興を図るためには、北陸新幹線新高岡駅への拠点性を高める「かがやき」の停車が必要不可欠である。

こうした効果を各地域へ波及させるためには、新幹線の二次交通となるアクセス路線であるＪＲ城端線を始め、ＪＲ氷見線、万葉線、あいの風とやま鉄道などの地域公共交通の活性化、連携強化が重要であり、沿線各市において様々な施策に取り組んでいるところである。

また、地域公共交通は地域住民の生活に密着した路線であるため、観光客だけでなく、通勤・通学者や高齢者などの利便性の向上を図っている。

については、とやま呉西圏域の活性化のため、北陸新幹線新高岡駅への「かがやき」停車を始め、圏域の軸である公共交通ネットワークの機能強化・利便性向上について格別のご配慮を願いたい。

- ・ 北陸新幹線新高岡駅への「かがやき」停車
- ・ 「はくたか」の所要時間の短縮等や「つるぎ」との乗り継ぎ改善
- ・ ＪＲ城端線・氷見線の活性化（城端線・氷見線沿線地域公共交通網形成計画の推進支援）
- ・ 万葉線の維持・活性化
- ・ あいの風とやま鉄道の高岡駅以西の利便性向上

中山間地域における鳥獣被害防止対策の推進について

中山間地域は農業生産活動等を通して、安全・安心な食料の供給、国土や自然環境の保全、優れた伝統文化の継承等の多面的な役割を担っているが、近年では高齢化や人口減少による担い手不足から、集落機能の低下や荒廃農地の増加が危惧されている。

現在、有害鳥獣による農作物被害額は高い水準で推移しており、人災を伴うクマや林業被害をもたらすシカのほか、イノシシによる被害は特に深刻で、最近では水稻、畑作のみならず中山間地域の農道法面やため池の堤体、農業用排水路の山側斜面等を掘り起こすことにより機能が損なわれるなど、農業用施設においても被害が頻繁に発生しており、さらなる被害拡大が懸念されている。

こうした鳥獣被害は、市町村単独では解決できない広域的な問題である。また、これらの被害は営農意欲の減退、耕作放棄地の増加等をもたらし、農山村に対しては被害額以上に深刻な影響を与えることから、捕獲活動において大きな負担が強いられている。そのため、捕獲活動の負担を軽減し、地域活力を向上させる新たな取り組みが求められている。

ついては、とやま呉西圏域の連携事業においても圏域全体で被害対策に取り組む体制を整備しており、農作物の被害を防止し、農業を維持させるため、捕獲活動等への支援について格別のご配慮を願いたい。

・鳥獣被害防止対策事業の推進

富山県西部地域における経済成長を促す拠点施設の整備について

本圏域では、散居村の美しい砺波平野が良質な米の産地となっているほか、干し柿やサトイモ、そしてチューリップの球根も有名である。また、3,000m級の立山も望むことができる美しい富山湾は寒ブリを始め、シロエビ、ベニズワイガニの好漁場にもなっている。これら農林水産業だけでなく、アルミ、鉄鋼等の金属・非鉄金属製品を中心としたものづくり産業が集積し、銅器、鋳物、木工などの伝統工芸産業も盛んであることから県内の産業拠点となっていることが“強み”である。

これらの本圏域における“強み”は、起業・創業や新成長分野への挑戦に対する支援、産官学金が連携した新技術・新製品の開発支援や環境整備、異業種間交流の推進や地域資源のブランディング、圏域の多彩な自然や文化、地域資源を活かした戦略的なプロモーションや旅行商品の造成などの連携事業で磨いているところである。

各種の連携事業を進めるにあたっては、とやま呉西圏域内の事業者はもとより、大学、金融機関だけでなく富山県の支援も必要不可欠である。“とやま呉西圏域の強み”を磨くことが、引いては“富山県の強み”になることから、県西部地域に富山県施設の整備、並びに、その拠点施設の活用について格別のご配慮を願いたい。

- ・薬事研究拠点となる富山県薬事総合研究開発センターを活用した「くすりのシリコンバレーTOYAMA」創造コンソーシアムによるバイオ医薬品の開発促進及び専門人材の育成・確保
- ・富山県産業技術研究開発センター・ものづくり研究開発センターにおける「オープンイノベーション・ハブ」の施設を活用した「とやまアルミコンソーシアム」による研究・開発促進及び隣接地への「富山大学国際連携先端材料研究センター」誘致への支援
- ・富山県産業技術研究開発センター・生活工学研究所におけるヘルスケア製品開発拠点の整備促進及び施設を活用した新繊維・素材を用いた高機能ウェアやスポーツ関連製品等の開発促進
- ・富山県総合デザインセンターにおける「バーチャルスタジオ」を核とした幅広い産業分野における国内外のデザイナーとの連携促進

とやま
呉西圏域

とやまアルミコンソーシアム

アルミものづくり拠点

デザイン交流創造拠点

薬事研究拠点

くすりのシリコンバレーTOYAMA
創造コンソーシアム

ヘルスケア製品開発拠点

